

先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業
「強震応答実験装置を用いた構造物の耐震性能把握手法の確立」
利用成果報告書

平成 26 年 10月20日

防災研究所長 殿

[利用代表者]

氏 名 杉本 秀高 (59才)

職 名 営業企画部

所属機関名 ソフィ株式会社

所在地 千葉県市川市大野町1-491-7

電 話 047-303-9000

F A X 047-303-9001

E-mailアドレス kaori@sofie.jp

利用目的	当社及び取扱い既製品・新商品などについて中越波、神戸波、仙台波、長周期波と同等の加速度で振動試験を行い耐震性能を評価すること。
利用形態 (該当する項目を■にしてください)	<input checked="" type="checkbox"/> トライアルユース <input type="checkbox"/> 成果公開利用 <input type="checkbox"/> 成果非公開利用
利用期間	2014年9月28日 ～2014年10月3日
試験体仕様 (大きさ・重量)	「キャビネット」 奥行：45 cm横：90 cm高さ：110 cm (板あり)、107 cm (板なし) 重さ：43 kg 重り：9.6 kgを中心部に6個 「テレビ」 42型 幅：104.4 cm 高さ：75.7 cm モニター厚さ：10.8 cm 重さ：38.3 kg (スタンド含む)
加振内容	長周期波、神戸波、東日本波、中越波

次項に続く

<p>実験結果の概要と 実験により得られ た成果</p>	<p>「G-BLOX メタル (M)」 フローリングとタイルカーペットの床において、長周期波・東日本波・神戸波・中越波により実験を行った結果、壁面接着面及び実験対象家具上部接着面と G-BLOX メタル (M) ベース部が剥離せずスライド機構が作動していることが目視により確認できた。又キャビネットの転倒を生じずに振動に耐えることができた。G-BLOX メタル (M) 本体の変形はなかった。</p> <p>「テレビ固定新商品」 フローリングの床で実験を行った結果、東日本波に、テレビの転倒を生じずに振動に耐えることができた。他の周期に関してはテレビ台が破損した為、実験ができなかった。</p> <p>「S 社耐震ラック」 フローリングとタイルカーペットの床において、長周期波・東日本波・神戸波・中越波により実験を行った結果、キャビネットの転倒を生じずに振動に耐えることができた。S 社耐震ラック本体の変形はなかった。</p> <p>「T 社段ボール製突っ張り棒」 フローリングとタイルカーペットの床において、長周期波・東日本波・神戸波・中越波により実験を行った結果、キャビネットの転倒を生じずに振動に耐えることができた。</p>
<p>社会、経済への波及 効果の見通し</p>	<p>本製品の安全性及び市場での優位性を実証することができ、周知していくことができるだろう。</p>
<p>発生した発明・著作物など (特許名称・出願番号・ 出願人、雑誌掲載資料)</p>	<p>特許名称；家具転倒防止具 出願番号；意願 2011-023713 意匠権者；ソフィ株式会社</p>
<p>その他</p>	<p>特になし。</p>

-
- 1) 実験終了後、速やかに(原則1ヶ月以内に)提出下さい。
提出先: 京大防災研究所 社会防災研究部門・都市空間安全制御分野
(E-mail: jto@zeisei.dpri.kyoto-u.ac.jp)
- 2) 文部科学省への評価報告が求められています。
知的財産権等の成果の追跡調査にもご協力宜しくお願い致します。